



二国ざしきわらし



8月は道路ふれあい月間です

国土交通省では、身近な存在でありながら普段あまり意識することのない道路について、広く道路利用者にその役割及び重要性を確認していただくとともに、もっと道路を自分たちのものとして考え活用していただきたく、毎年8月を道路ふれあい月間と定め道路利用者の視点に立った運動を実施しています。

夏の交通事故防止県民運動「めざまし作戦」

8月5日(金)、岩手町の道の駅「石神の丘」にて、夏の交通事故防止県民運動「めざまし作戦」が行われました。岩手町と岩手町交通安全協会関係団体及び岩手警察署と協力し、道の駅に立ち寄ったドライバーに対し、「適宜休息を取りながら、安全運転をお願いします。」と交通安全を呼び掛けました。



特殊車両の取締りを行いました

8月8日(月)、一戸町の奥中山防災ステーションにて、二戸警察署のご協力のもと、特殊車両の取締りを行いました。

道路は一定の寸法や重量の車両が通れるように造られており、その一定の寸法や重量を超える車両は、道路の構造又は交通に支障を及ぼすため原則としては、通行できないことになっています。この制限を超える車両のことを「特殊車両」と呼び、道路を通行するには許可が必要となります。

当日は、「車両の長さ、巾、高さ」、「車両の重量」、「許可条件」の確認を行い、取締りの結果は、以下の通りとなりました。

対象車両 5台 うち違反車両 2台(無許可)

～ 通行許可条件を遵守して安全運転をお願いします ～

許可証の確認



車両の重量の計測



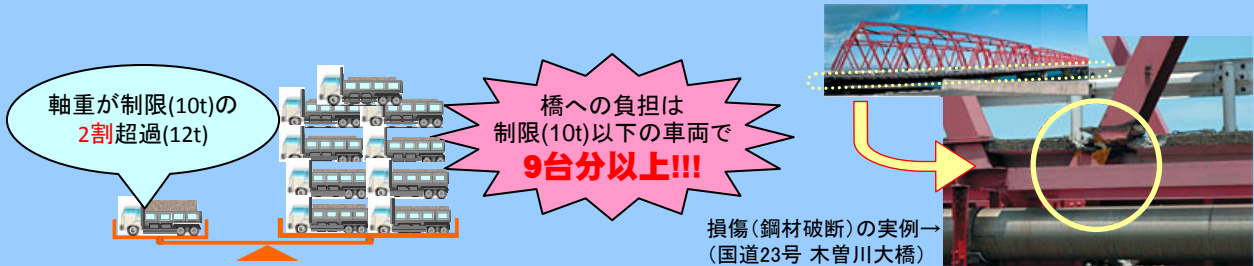
車両の長さの計測



違反者の名称や違反内容の公表を開始します

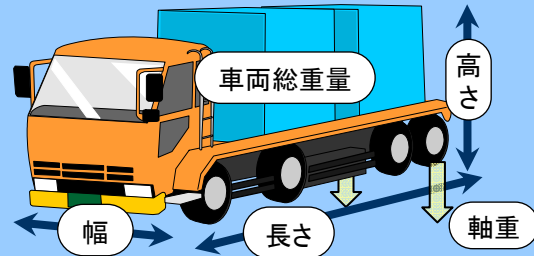
平成25年より、「車両制限令」第3条に定める『寸法・重量』を超える車両を、「特殊車両通行許可」を受けずに、または許可の内容に違反して走行させることを繰り返し行った場合、是正指導を行い、それにも関わらず違反が確認された場合には、その違反者の名称や違反内容等を公表します。

重量制限超過は、みんなの財産である道路に負担をかけています



下表の限度を「1つでも」超える車両は「特殊車両通行許可」が必要です

	道路の構造による限度 (車両制限令等)
長さ	走行(連結・積載)状態で 12m ※トレーラ等連結車はほとんどがこれを超えます。
幅	積載状態で2.5m
高さ	積載状態で3.8m (一部道路では4.1m)
総重量 (車+乗員+荷物)	積載状態で20t (一部道路では車両の構造に応じて最大25t)
軸重	積載状態で最大10t



【注意】
 ・車両の大きさや重さに関する制限はこのほかに「道路運送車両法」、「道路交通法」でも定めがあります。
 ・自動車検査証に記載の車両総重量等の範囲内であっても、左表の限度を「1つでも」超える車両は「特殊車両通行許可」が必要です。

「特殊車両通行許可」の申請と許可について

- 車両を通行させようとする者(運送事業者、荷主等)が申請しなければなりません。
 - 道路管理者(国、都道府県、市町村等)は、申請された車両が安全に通行できるか否かを、道路の構造と照らし合わせて確認を行います。
 - 複数の道路管理者が管理する道路にまたがる申請経路の場合、申請を受け付けた道路管理者(例えば国道事務所)で一括して手続き(他の道路管理者との協議を含む。)を行っています。
 - 道路管理者が異なる複数の道路に係る許可の申請をする場合、「協議」に要する実費として手数料が必要です。
 (※行政書士に代理申請を依頼する場合には、別途行政書士に支払う報酬が必要となります。)
- インターネット経由の申請も可能です。詳細は下記のURLをご参照ください。

<http://www.tokusya.ktr.mlit.go.jp/PR/>

【ご注意ください】許可された経路及び許可に附された条件による走行が必要です。

→許可は、車両や経路を限定して一定の条件のもと走行を可能とするものです。許可にあたっては、橋等への負荷を軽減させるために、あるいは交差点折進時における対向車両の安全等を確保するために前後に誘導車を配置する措置や、交通量の少ない夜間に通行する措置等を条件として附す場合があります。

これらを守らずに通行した場合、罰則の適用を受けることがあります。(道路法第102条第1号)